

# 第32回 沖縄ジュニアゴルフ選手権

## 競技開催要項

開催月日 令和7年8月2日（土）・3日（日） 予備日 8月11日（月） 山の日 振替休日  
開催場所 南山カントリー  
〔住所〕〒901-0331 沖縄県糸満市字真栄平1170番地  
〔電話〕（098）997-2021・2025

### 〔競技条件〕

- 小学生低学年は 18ホールストロークプレー（初日9ホール・2日目9ホールの合計スコア）  
小学生高学年・中学生・高校生は 36ホールストロークプレー  
但し、小学生高学年・中学高校生の部は初日（18ホール）を予選ラウンドとし、  
**109ストローク以下の選手が、2日目（18ホール）の決勝ラウンドに進出できる。**  
予選・決勝ラウンド合わせて36ホールストロークプレーとする。
- 決勝ラウンド実施日が天候その他不測の事態が生じた場合は、予選ラウンドの成績で順位を決定する場合がある。
- 2日間で18ホール終了していない場合、予備日（1日競技）を使用する。
- 雨天での競技条件の変更については、当日クラブハウス内に掲示する。
- その他、不測の事態が発生した場合は競技委員長の裁定によって決定する。
- 大会は指定のティーインググランドを使用する。  
小学生低学年（1～3年生の男女）はピンクティーマーク、  
小学生高学年（4～6年の男女）は白ティーマーク  
中学生（男女）・高校生（男女）は青ティーマークからとする。  
(通常営業とティーイングエリアの位置は異なります。)
- プレーの中止と再開
  - プレーの中止
    - 競技委員会は競技当日の気象状況や何らかの理由でゴルフプレーが不可能な状況であると認めた場合はプレーの中止を決定しプレーヤーに指示を出す。
    - 競技委員会よりプレー中断の指示が出た場合、プレーヤーはすぐにプレーを中断しなければならず、又競技委員会よりプレー再開の指示ができるまでプレーを再開してはならない。  
プレーヤーがすぐにプレーを中断しなかった時は、そのプレーヤーは競技失格とする。
    - プレー中断のあったホールでのプレーは無効とし、そのホールの打数は取消し、又そのホールで受けた全ての罰も取消す。
    - プレーヤーは競技委員の指示にしたがい速やかにクラブハウスに帰館する。
  - プレー再開の合図について
    - 競技委員会よりプレー再開の指示がでた場合、各プレーヤーは速やかに中断のあったホールのティーオフからプレーを再開する。
    - 使用球については、再度マーカーの確認を得るものとし球の取替を認める。
- 競技当日の練習は、指定したパッティンググリーンに限定します。
- 移動
  - 小学生の選手は競技中、常に乗用カートへの乗車を認めるものとする。
  - 中学生・高校生の部はキャディーバックを乗用カートに積載させ、歩きとする
  - OBや紛失球等で打ち直しに戻る場合にも、各部門共カート乗車を認めるものとする。
- キャディー
  - 競技者のキャディー使用は禁止とする。この条件の違反の罰は、『ゴルフ規則付10.3a』。（ゴルフ規則94ページ参照）を適用する但し、選手の健康に関する行為はその他のルールに抵触しない限り許可する
- 順位の決定
  - 予選ラウンドスコアとの合計で順位を決する。
  - 2日間36ホールの合計スコアで1位がタイ・スコアの場合は、競技委員会が指定するホールにおいて、サドンデス方式によるプレーをを行い、第1位を決する。
  - 2位以下がタイ・スコアの場合は、決勝ラウンドインスコアによる「マッチング・スコアカード方式」により順位を決定し、それでも決定しない場合は、18番ホールからの「カウントバック方式」で決定する。

## 1.2. 競技の服装

ゴルフに適した服装でプレーして下さい。軽装（タンクトップ等）はおやめ下さい。

帽子は着帽しゴルフシューズ及びスニーカーでプレーして下さい。

## 1.3. 競技終了

本競技は、競技委員会による成績表が掲示された時点をもって終了したものとする。

## 1.4. 処置についての疑問

競技者はプレー中に疑問が生じた場合は、罰無しに2つの球でそのホールを終える事が出来る

『ゴルフ規則 20.1 c (3)』（ゴルフ規則 190 ページ参照）

## 1.5. 競技規則

- ① スタート40分前にはコースに到着し受付を終えている事。
- ② スタートコール時10分前にスタートホールに待機している事。
- ③ ①、②の条件を満たしていない場合、失格とする。
- ④ 競技終了後及び、後日スコアの過少申告が判明した場合、失格とする。
- ⑤ この競技において、下記の特別競技規則を適用する。

### 特別競技規則（ローカルルール）

② O B の境界は白杭で標示する。

② 修理地は青杭、又は白線をもってその境界を表示する。

③ 幼木、樹木の支柱及び添え木、コンクリート柱は動かせない障害物とする。（無罰）

④ 黄地に黒線の杭（ワンペナ杭）、16番・18番間のU字溝は動かせない障害物とする。（無罰）

⑤ 4番・6番間の浸透池周辺の赤杭エリア内は、プレー禁止区域としジェネラルエリア内にドロップする。

⑥ 8番グリーン右奥の浸透池は修理地扱いとし青杭で表示する。（無罰）

⑦ 13番・14番間の排水溝は「レッドペナルティーエリア」とし、赤杭で表示する。

⑧ 小学生・低学年用のティーマーカーに打球が当った場合は全て打ち直しとする。（無罰）

ニアレス→1クラブ

また、そのティーマーカーがスwing及びスタンスに影響がある場合は動かせない障害物とする。（無罰）

⑨ グリーン上においては、パター以外のクラブ使用を禁止する。

⑩ バンカー内の流水跡にボールが止まった場合は、罰なしに元の位置に出来るだけ近く、かつホールに近づかない箇所で

バンカー内にドロップすることができる。但し、スタンスは含まない。

⑪ この特別競技規則に定めない事項は、すべて日本ゴルフ協会ゴルフ規則による。

## 〔注意事項〕

1. 競技の条件及びローカルルールに追加・変更があるときは、クラブハウス前に掲示して告知する。
2. 組合せ発表後に、欠場者等があった場合は当初の組合せ及びスタート時間を変更する場合がある。
3. スコアカードは指定されたものを競技委員より受領し、プレー終了後速やかに指定の場所で競技委員に提出する事。
4. 競技中の、ギャラリーとの接触においてアドバイスとみなされる行為があった場合は、2打罰を課すので注意する事。
5. プレーの進行は、ハーフラウンド2時間以内とすること。先行組みと1ホール以上空けると、1回の警告後、その組全員にスロープレーの罰（2罰打）を科す場合がある。
6. 選手は各自、目土袋を持ってプレーする事。又、自分で作ったディボット後は目土をしてラウンドする事。目土袋を持っていない選手は、スタート出来ない場合がありますのでご留意下さい。
7. プレー中の練習器具に類するものの使用を禁止します。使用した選手はその時点で失格とする。
8. 距離計測器の使用は認めるが、高低差等を計測出来る器具の使用は禁止です。使用した選手はその時点で失格とする。
9. 競技中は携帯電話のコース内の使用を禁止する。但し、緊急を要する場合、競技委員の承諾後携帯電話の使用を認める。

## 〔その他〕

内容に関してご質問等がありましたら、お気軽に係員までお聞き下さい。